

システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

年 度	平成 22 年度	学位名	修士(ビジネス)
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名 李若洵
指導教員氏名 大貫 裕二			
報告書題目 日本に進出するアジア企業への提言及び政府の受入施策 (台湾の ICT 産業の日本市場進出におけるブランド戦略の構築)			
報告書概要 本研究では、ICT 産業に着眼する。台湾の ICT 企業が日本市場に進出する際に、直面した問題を調べ、ブランド戦略について重点的に研究を行う。  近年、台湾政府は ICT 産業に力を入れていて、国家発展政策の一環、これからの経済発展の中心として位置づけられている。そのため、政府と民間企業との連携も盛んになっている。このような環境の中で、台湾の ICT 産業の関連企業も順調に成長してきた。現在、台湾の ICT 製品の生産量と品質は世界トップレベルで、世界中から注目を浴びている。  ICT 産業は日本でも昔から発展しているので、すでに多数の日本の企業が参入しており、日本国内では高いシェアを持っている。そのため、新たに日本市場に参入する台湾の ICT 企業はシェアを獲得するため、苦戦が続いている。  また、日本市場は独自の仕組みがあり、独自性のある市場だと指摘されてきた。日本の市場に参入する際、台湾の ICT 企業が直面したのは日本市場の独自性及び消費者の消費スタイルである。これらは台湾の ICT 企業の進出戦略に大きな影響を与える。  このような参入障壁とブランド戦略の展開をめぐる問題を解明するため、文献調査、ケーススタディとヒアリング調査の手法を用いた。これによって、今後台湾の ICT 産業が日本市場に進出する際、有効なブランドを構築し、顧客認知度を向上するために必要となる戦略を提案した。			
審査日 平成 23 年 1 月 31 日			
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 教授	博士(工学)	張 勇兵
副査	筑波大学 准教授	工学修士	大貫 裕二
副査	筑波大学 教授	Ph.D.in Sociology	松田 紀之
副査	筑波大学 准教授	Ph.D. in Management Science	倉田 久